

中国ひとり掃除から 「夢拾い」へ

広島県

中村

隆行



私が掃除道に入ったきっかけは、2009年1月大阪天分塾での鍵山秀三郎先生のご講演です。その場で本を購入し、1年後地元に戻ったときに、「呉掃除に学ぶ会」に入会しました。

3回目の学校トイレ掃除のときのリーダー役がうまく行かず落胆しました。これではいかんと、独自のスケジュール表を作成し、時間厳守を目標にトイレ掃除に臨むようにしました。

だんだん慣れてきて、生徒さんの顔をじっくり観れるようになりました。掃除後の生徒さんのすっきりした顔を見て、疲れが吹っ飛んだこともありました。

2014年、中国の小さな会社の総経理として単身赴任しました。会社の雰囲気は良いとは言えず、事務所のトイレもご多聞に漏れず美しくない。意を決して、誰もいない2時間の昼休憩を利用して、ひとりで徹底的に掃除しました。その後、従業員も掃除してくれるようになったこと

は大きな喜びです。

市内では、市の職員が集団で街頭掃除をしていましたし、高速度路のサーブスエリアのトイレも新しくきれいになっていました。中国も美化に力を入れるようになったと感じながら、3年半の赴任を終えました。

帰国後、すぐ「呉掃除に学ぶ会」に復帰し、トイレ掃除を楽しんでおりました。コロナ禍のため昨年5月から、呉の中心部の堺川駐車場付近のゴミ拾いで、街をきれいにしています。

また、東広島市発祥の「夢拾い」に共鳴し、自宅周辺の夢(ゴミ)拾いを毎日行い、4年になりました。今後も、掃除道の学びを少しずつ進めていきたいと思っています。

衝撃の一言で 私は変わりました

宮崎県

奥野おくの

幸子さちこ



1997年、後藤泰典氏が「宮崎掃除に学ぶ会」を発足され、私もメンバーの一人でした。

翌年、日高美恵子会長「お菓子の日高」主催の講演会に参加し、その懇親会で鍵山秀三郎氏にお会いしました。緊張しながら「主人とビル清掃の仕事をしていま

す」と自己紹介すると、「ご主人と世の中の荒みを洗い流して下さりありがとうございます」と、お言葉をいただきました。

35歳の頃から、主人と義父の家業のビル清掃をしております。朝早くから夜遅くまで、好きでもない掃除をどうしてしないといけないのかと、主人に辛く当たったこともありました。2人の子どもを連れて実家に帰ることばかり考えていました。

そんなときの鍵山様のお言葉は、衝撃でした。自分が恥ずかしく、涙が止まらない夜を過ごしました。そして「もう少し頑張ってみよう！」と心が動きました。

それから本業の傍ら、週末に県内外や海外の掃除の会にも参加しました。どうして素手で便器を磨

くのか理解しようとコツコツ磨いているうちに、心が充実感で満たされていくようでした。

「掃除をしてあげる」から、「掃除をさせていただく」気持ちに、いつの間にか変わっていました。それまでの私は、環境を疎ましく思うこともありましたが、トイレ掃除が私の心の荒みを洗い流してくれたようです。

宮崎の会発足時から一緒にやってきた後藤様と児玉紘一様のあとを受け、2015年代表になりました。鍵山様との出会いは、私の人生を大きく変えました。逃げず、諦めず、この道をひたすら歩き続ける。掃除道で感じた思いを、多くの方に伝えていきたいと思えます。

いい縁が、会社経営・地域の美化活動へ

石川県 市村 昭代史



2000年3月、商工会の研修でタニサケ塾に参加したことがきっかけで、トイレ掃除に興味を持ちました。同年12月23日、金沢市内の小学校のトイレ掃除に初めて参加し、そこで鍵山秀三郎様にお逢いしました。

年末に送っていただいたカレ

ンダーに、「いい縁ほどすぐ遠のく」とありました。私はハツとして、「謙虚な姿勢、感謝の気持ちをもってこそ、良い縁は続く」と理解し、このご縁を中心に置こうと決めました。人生の転機となる学びでした。

鍵山様の掃除に参加し、段差スロープの鉄板をどけての掃除、グレーチング溝やその側溝の真ん中で徹底する掃除を見て大変驚きました。その場の「氣」が変わったのです。目に見えるところはもちろん、隠れているところ、面倒なところほど丁寧に掃除するから、氣が変わったのです。「大きな努力で小さな成果」を学ばせていただきました。

この教えは、仕事への取り組み、掃除の実践に活かされ、今も

多くの気づきをいただき、励みとなっています。

会社の工場では5S活動を推進しています。また自主活動として、社員3名程度は月に約3回、国道の草取りや掃除をしています。

掃除は地域へと広がり、県が地域のボランティア団体を支援する「いしかわ我がまちアドプト制度」に参加するようになり、地域連携沿道環境創出事業の一環を担っています。

社員やお客様への感謝の気持ちが掃除の範囲を拡げ、小さな行動を続けることで、地域の変化につながってきたと実感しています。キレイが広がることで、少しでも心の荒みをなくしていきたいと願っています。

(929)1332 石川県羽咋郡宝達志水町北川尻 67-17

掃除で繋がるご縁

福岡県 井 啓充 恵



「なぜ掃除なの？」

2019年、おつきあいを始めたばかりの恵さんの誘いで、新宿・渋谷街頭清掃に初参加するときの心境です。当時は教育者を目指し、勉強に励んでいる時期でしたので、「無駄なことではしたくない」という気持ちでした。し

かし、足元のゴミすら拾わない自分の傲慢さに気付き、以来コツコツと掃除を続けてきました。

2021年、15年振りに地元福岡に戻り、仕事の再スタートを切り、私たちは結婚しました。

福岡でも掃除を続け、中でも博多駅早朝清掃の代表富吉袈裟右衛門さんには、掃除だけでなく農業にも挑戦する機会をいただき、大変お世話になっています。

農業は自然が相手です。正解がなく、状況に応じて工夫が必要なところは、掃除と通じる部分があり、新しい発見と学びの日々です。博多駅早朝清掃は、富吉さんから代表世話人を引き継ぎました。夫婦で掃除をしていますので、二人のときには掃除の話題が絶えません。朝起きることが辛く

ても、必ずどちらかが声を掛けて二人で向かいます。

結婚式当日も、博多駅早朝清掃のお世話の後、式へ向かいました。新婚旅行も掃除と関係の深い徳之島へ行かせていただき、気付けば私たちの生活の中心に掃除が大きくあります。

掃除をする意味が分からなかった私が、今は掃除が中心の生活や人間関係を築かせていただいています。掃除は、自分と向き合わせてくれる大切な活動です。

掃除との出会い、そして掃除を通して志を同じくする方々とのご縁がなければ、今の私はいません。掃除で繋がるご縁が宝です。日は浅いですが、やっつけて良かったと心から思います。

(811-2107 福岡県糟屋郡志免町南里2-18-14-403)

学校敷地内すべてに スキをつくらない

沖縄県

仲田 なかだ
丘 つかさ



2014年4月、宜野湾市立嘉数中学校長着任時、校内はコントロールを失い荒れ放題でした。

暗中模索のなか、同年12月13日鍵山教師塾で「掃除道」に出会いました。掃除好きの私の、眠っていた感性が呼び覚まされまし

た。掃除に哲学があることも知り
ました。衝撃でした。突然一切の
迷いが消えました。それから取り
つかれたように、学校内を片っ端
から片づけました。

職員から「自分のものは自分で
片づける。触らないでほしい」「大
変な時になぜ掃除にこだわるの
か」「今度の校長はずれてないか」
など、多少の摩擦も出ましたが、
迷いはありませんでした。

終日掃除の毎日が続きました。

「何かお手伝いありませんか」と
1人、2人の教師がついてきまし
た。「生徒会も手伝います」と、生
徒も動き始めました。学校は束に
なりエネルギーを膨らませなが
ら、急速にきれいになっていきま
した。それも桁違いの変わりよう
で…。来客から「すごくきれいで

すね」といわれるようになり、教
師には自信となりました。

「人を育てる、人を変えるのは
難しい、いや不可能かも…」

荒れた学校の勤務が長いベテ
ラン教師ほど疲弊感、閉塞感が深
くなります。それを解決したのが
全員掃除、それも「そこまでやる
か」の掃除でした。ほぼ一年後
には、大きく変わった本校を見に、
多くの見学者が訪れるようにな
りました。

なぜ学校はそこまで変わった
のか。それは、徹底した掃除によ
り学校にスキがなくなったこと
でした。校門を入ったとき、玄関に
入ったとき、スキのない凜とした
空気が流れ、常に心地よい緊張感
を維持していたように思います。

(901 221 沖縄県宜野湾市宜野湾3・23・18)

掃除に学んだ経営と 地域貢献

徳島県

鍛谷かしたに

幸一こういち



掃除がよいということは知っていました。鍵山相談役が近くの町の中学校で講演をされた機会に、お願いしてお会いました。2005年、私の会社を中心とし

て「徳島掃除に学ぶ会」を立ち上げました。活動はトイレ掃除が主体で、当初会場の学校探しに苦劳しました。現在20名弱で、社員と地域の方が半々程度です。

相談役から学んだことです。

京都の会でおっしゃいました。

「その先生は、子どもたちの信頼が弱かったのですね。あるとき、誰かがトイレの床に汚物をそのままにしていたのです。それを見た子どもたちは後ずさりするのです。ところが、先生は素手でその汚物を片付けたのです。それを見た子どもたちは、『先生スゴイ』と言いました。そして先生は子どもたちに信頼されるようになったのです」と。

人の嫌がることを進んで行くと、人から信頼され心も磨ける

と教えていただきました。

また、雨だからしないとか正月だからしないなどの、「例外を作らない」ことを学びました。

1998年、毎月一回、早朝街頭清掃をする「町を美しくする会」を始めました。30〜40人程度で、社員と地域の方が半々くらいです。「例外を作らない」おかげで信頼され、2022年5月時点で、293回となりました。

その他、2010年に5回、不祥事を起こした徳島商業高校サッカー部の高校生とトイレ磨きをし、彼らはその後大会に出場できるようになりました。

掃除に出会い、経営から地域社会にまで関わることででき、感謝しております。

(770)0044 徳島県徳島市庄町1-21

イタリアにおける掃除道

イタリア マニセラ・ロサリオ
Manisera Rosario



2012年、欧州の経営者たちと岐阜県の田中義人氏の会社を訪れました。彼は90年代初頭の経済危機の際に、鍵山氏と掃除のお陰で、会社がいかに救われたかという話を語りました。私は掃除道に興味を持ち、鍵山氏の本を読み始め、4冊をイタリア語に翻訳・出版しました。

また、私たちの文化交流協会「ふじ会」とイタリアが掃除道の精神と実践を学ぶよう、記事を書いたり講義をしたり、企画に助言したり始めました。

イタリアのビジネスグループと何度か日本に行き、恵那で掃除道を実践し、鍵山氏にも会いました。鍵山氏と「美しくする会」のメンバーも何度かイタリアを訪問し、新聞、テレビなどのマスコミを通して、日本由来の掃除に関するメッセージを伝えました。

コロナウイルスにより交流は中断していますが、早く再開したいと考えます。しかしこの間、環境や気候問題にも関連し、清掃に関する活動は広がっています。自分の地方をより美しくしたいと、イタリア半島全体にボラン

ティアグループが生まれていきます。ローマ、ナポリなどで公道を掃除した日本人の例は、清潔な環境をつくるのは私たち一人ひとりの責任であるという認識を刺激しました。私たちのブレシア市でも、ボランティアグループが定期的に地域や周辺の森を掃除し、学校も参加しています。

コミュニケーションの精神と相互扶助の願望も高まり、企業では「5S」プログラムが一般的になりつつあります。

この長い旅は、私たちの社会が、より親切で、歓迎的で、人間的で、さらに繁栄し、美しくなるのに役に立つと思います。

掃除道の旅に私たちを導いてくださった鍵山さんと「日本を美しくする会」に感謝します。

鍵山先生の至言

「教育は教化でなく感化です」

大阪府

西橋^{にしはし}

聖次^{せいじ}



2013年12月7日、大谷育弘先生開催の東北の「被災地に学ぶ会」参加が、お掃除との出会いでした。皆さまの取り組み姿勢に感銘を受け、私も同じような

ことをしようと思いました。

泉佐野市立第3中学校で開催されていた、トイレ掃除を行なう「大阪便教会」に毎月参加するようになりました。きれいになるのが楽しくて、嬉しくて、新鮮でした。さらに2015年3月に参加した鍵山教師塾は、全国各地から先生方が集い、活気に満ちた会でした。鍵山先生と作業する機会をいただき感激しました。

それ以降、鍵山教師塾に集まった先生方や鍵山先生に近づくと、毎日学校で掃除をしました。しかし、それは表面的な行為でした。本来は掃除に学び、気づくべきなのですが、私は大きな勘違いをしていました。

自分と周囲を比べたり、自分の教室と他の教室を比べたりし

て周囲と対立して多くの人を傷つけ、嫌な思いをさせたと深く反省しました。

2016年6月12日から毎月第2日曜日に、新大阪駅前のお掃除を始めました。2022年5月で72回となり、応援のお仲間も増えました。

お掃除はあくまで自分と向き合い、「己を知り己に気づきを与えてくれる」修行だと思おうようになりました。勘違いもわが人生に必要なもので、経験すべき通過点だったのだと思います。

鍵山先生は「教育は教化ではなく、感化です」と仰います。自分を知れることを胸に刻み、「自ずからにじみ出る感化」の修行を積み重ねてまいる所存です。

(538,004)大阪府大阪市鶴見区放出東1-24-24